

情報システムの最新トレンドを一挙に紹介(第3回)

近未来ネットワーク体験「Interop Tokyo 2016」

2016.06.17



2016年6月8～10日、千葉市・幕張メッセにおいてInterop Tokyo 2016(主催:Interop Tokyo 実行委員会)が開催された。システムの相互運用性を意味するInteroperabilityから名付けられた本イベントは、最先端の情報通信技術を紹介する国内最大級の展示会だ。今回は出展社数529社、来場者数14万945人を記録。活気に満ちた雰囲気での開催となった。

ICT分野の一般的な展示会は、競合関係にある企業が自社製品をアピールし、競い合う場になっていることが多い。しかしInterop Tokyoは相互接続がテーマにあるため、参加企業は原則としてお互いの連携を前提とした展示を行っている。これは実際にシステムを運用するユーザーにとって、より広い視野で業界を見渡せるというメリットがある。

Interop Tokyoの会場では、頻繁に講演やセミナーが行われる。気軽に最新情報を入手できるので、エンジニアに限らず、インターネット活用に取り組むすべてのビジネスパーソンにとって参加する価値が大きいイベントだ。

今回、Interop

Tokyoの主催者が注力した主なキーワードは、「IoT」「SDI/NFV」「セキュリティ」の3つ。イベントのポイントを紹介しよう。

毎日のようにIoT(Internet of Things)関連のニュースが報じられている。政府の成長戦略にもIoTの導入推進が盛り込まれ、日本の将来を左右する要素の1つといわれている。いわゆる「モノのインターネット」を実現するためには、家電製品や自動車、ロボットをはじめ、身の回りにあるさまざまなモノとインターネットを接続することが必要だ。

新時代のメガトレンド「IoT」… 続きを読む